

鉛給水管について

津山市水道局

・鉛管とは

柔らかく施工性に優れていることから、水道の普及当初から全国的に使用されてきました。配水管からの取出し部分や水道メーターの前後に使用されていました。

・経緯・使用状況

津山市では、普及当初から平成元年頃まで給水管の材料として鉛給水管が採用されてきました。現在は、ポリエチレン管もしくは塩化ビニル管に切り替えています。しかし、すべての更新までには至っていません。

・水の安全性について

平成15年に厚生労働省では水道水に含まれる鉛の含有基準を0.05mg/lから0.01mg/l以下へ強化しました。通常の使用では基準以下であり毎日水道水を飲用しても健康に問題ありません。

なお、津山市では市内数カ所で水質検査を実施しており、そのいずれからとも基準を超える値は検測されていません。

・給水管に鉛管が使われてるご家庭では

朝一番や長時間使用していない場合は一時的に鉛濃度が高くなることも考えられます。念のためバケツ一杯程度を飲用以外(トイレ等)の用途にお使いください。

・鉛給水管の解消に向けて

津山市水道局では、鉛管更新工事を計画的に実施しています。また、老朽配水管の更新工事等でも解消に向けて積極的に進めてまいります。

このページに関するお問い合わせ先

水道施設課 給水管理係

電話番号 0868-32-2108 月曜日から金曜日(休・祝日・年末年始を除く)

午前8時30分から午後5時15分まで